



CNHR Newsletter

CENTER FOR NATURAL HAZARDS RESEARCH, HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学 広域複合災害研究センター

Vol.3 January – March 2021

■2021年度の組織体制

2021年4月1日付の人事異動をお知らせします。

- ▶センター長(再任) 山田孝教授
- ▶副センター長(新任) 厚井高志准教授
- ▶副センター長(退任) 笠井美青准教授
- ▶専任教員(再任) 岡田成幸特任教授
- ▶兼務教員(新任) 佐々木貴信教授(農学研究院)
- ▶兼務教員(サバティカル取得のため2021年9月末まで退任) 橋本雄一教授(文学研究院)
- ▶兼務教員(退任) 今日出人特任教授(工学研究院)
- ▶兼務教員(退任) 久加朋子特任准教授(工学研究院)

退任のあいさつ

今日出人特任教授 (株)ドーコンへ異動)

令和2年度末をもって、工学研究院土木工学部門地域防災学分野での3年の任期を終え、新年度より(株)ドーコンに勤務しております。30数年ぶりの母校で皆様方のお力添えにより多くのことを勉強させていただき誠に有難うございました。仕事から、今後も皆様方にはお世話になる場面が多々あるかと思えます。どうぞ宜しくお願いいたします。末筆ながら、CNHR並びに皆様方の益々のご発展をお祈り申し上げます。

久加朋子特任准教授 (富山県立大学工学部環境社会基盤工学科流域環境保全学分野 准教授へ異動)

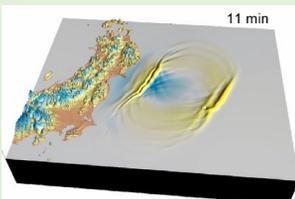
3月31日をもって北海道大学大学院工学研究院土木工学部門地域防災学分野の任期を終え、この4月1日より富山県立大学へと異動致しました。最終年度はコロナ禍もあり、思うように皆さまと連携をとることも難しい状況ではございましたが、帯広管内や厚真川流域など、調査・研究を続けていきたいと思っております。今後とも引き続きご指導ご鞭撻賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

■研究者紹介 谷岡 勇市郎(たにおか ゆういちろう)

理学研究院 地震火山研究観測センター 海底地震・津波分野 教授
広域複合災害研究センター 兼務教員

巨大地震による津波や地震により二次的に発生する海底地すべりによる津波を海底観測データ等から即時予測する手法の開発を数値計算手法を用いて研究して

います。さらに過去の津波データから巨大地震・大津波の発生メカニズムの理解にせまる研究も実施しています。これら研究成果は北海道沿岸での津波被害を軽減するために重要であると考えています。



■活動報告

● 令和2年度活動報告書刊行

令和2年度のCNHRの活動を取りまとめた活動報告書を3月31日に刊行しました。報告書はCNHRの以下のwebサイトで閲覧できます。

<https://www.cnhr.info/annual-report>

● 大学院共通科目「国土保全学総論」開講

CNHR所属教員と非常勤講師によるオムニバス形式で大学院共通科目「国土保全学総論」を2021年度も下記のスケジュールで開講します。我が国の国土の成り立ちを踏まえ、国土保全と地域保全の重要性と必要性を講義し、実例に即して課題から解決策を導く過程を通して実践力のある人材の育成を図ります。講義の拝聴を希望される方は事務局までご連絡ください。

回	月日	タイトル	キーワード、概要	講師
1	4/8	国土保全学概論(1)	ガイダンス、国土保全、地域保全、広域複合災害減災	山田孝 (CNHR)
2	4/15	国土保全学概論(2)	土砂災害防止法	厚井高志 (CNHR)
3	4/22	国土保全学概論(3)、(4)	砂防の基礎、環境保全土砂災害と森林	小山内信智 (政策研究大学院大学)
4	5/13	国土保全関係法令 総合的な防災行政の運用	治水三法、砂防四法 砂防政策の立案・展開	南哲行 (砂防・地すべりセンター)
5	5/20	国土保全と行政実務(1)	火山砂防	厚井高志 (CNHR)
6	5/27	国土保全と行政実務(2)	ソフト対策、土砂災害警戒情報	菊井稔宏 (砂防・地すべりセンター)
7	6/10	国土保全と行政実務(3)	地すべり対策	武士俊也 (砂防・地すべりセンター)
8	6/17	国土計画と国土保全政策(1)、(2)	国土計画、国土保全政策、公共事業	奥野信宏 (名古屋都市センター長・中京大学学術顧問、国土審議会会長)
9	6/24	国土保全と行政実務(4)	地震時の土砂災害、河道閉塞対策	厚井高志 (CNHR)
10	7/1	国土保全と行政実務(5)	防災工事の実際 (現地見学)	厚井高志 (CNHR) (開発局または道庁に協力依頼予定)
11	7/8	国土保全と行政実務(6)	自治体の災害初動対応	室田哲男 ((公財)日本防災協会)

北海道大学 広域複合災害研究センター

〒060-8589 北海道札幌市北区北9条西9丁目

Tel: 011-706-3882 Fax: 011-706-4695

Email: cnhr-unei@cen.agr.hokudai.c.jp

ホームページ: <https://www.cnhr.info/>

メンバー活動報告

名前	所属・役職	専門	最近の活動内容(研究課題など)
山田 孝	センター長 農学研究院・教授	砂防学	広域複合災害減災手法(特に、異種ハザードの重なる区域での災害シナリオと減災手法)、土砂・流木災害減災手法、土砂災害自衛工法、火砕流被害想定手法
井上 京	農学研究院・教授	農業土木学	低平地、特に泥炭地における地盤沈下に関する研究
鮫島良次	農学研究院・教授	農業気象学	気候資源と農業生産に関わる研究
笠井美青	副センター長 農学研究院・准教授	砂防学	山地流域における災害後の地形変化の把握と予測
厚井高志	広域複合災害研究センター・ 准教授	砂防学	火山噴火または地震に伴う大規模土砂生産イベント後の土砂・流木動態に関する研究
田中健貴	広域複合災害研究センター・ 助教	砂防学	斜面土層内のパイプ流が斜面崩壊発生に与える影響に関する実験的研究
桂 真也	農学研究院・助教	砂防学	山地小流域における斜面内部の水循環および崩壊・地すべり発生予測に関する研究
泉 典洋	工学研究院・教授	河川工学	洪水時における河床変動とそれによる河床粗度の変化や河岸侵食・河道変動のメカニズム
山下俊彦	工学研究院・特任教授	海岸工学	海岸浸食と越波災害に関する研究
萩原 亨	工学研究院・教授	交通工学	道路における暴風雪災害を防ぐため、CCTVカメラで補足できない区間や路線の視界を車載カメラから評価する技術を開発している。道路管理および他車への情報提供することを目的としている。
今日出人	工学研究院・特任教授	地域防災学	電波不感地域における雨量・水位・氾濫情報提供システム開発
久加朋子	工学研究院・特任准教授	河川工学	山地河川における流れと河床・流路変動に関する研究
永田晴紀	工学研究院・教授	宇宙推進工学	小型深宇宙探査機用ハイブリッドキックモータの開発(本年度中にプロフライトモデルの完成を目指しています)
江丸貴紀	工学研究院・准教授	ロボット工学・ 制御工学	・大規模フィールドの管理を目的とした非均一なUGV・UAV群によるロボスタSLAM ・港湾の維持管理を目的としたGNSSTラッカーの開発
戸谷 剛	工学研究院・教授	機械工学	超小型衛星の熱設計の研究を行っています。最近、超小型衛星用の乱水域検出センサーの研究開発を始めました。
山田朋人	工学研究院・准教授	水文学	・気候変動予測手法の開発と洪水リスク評価に関する研究 ・地球水循環システムと極端現象の解明に関する研究
田中 岳	工学研究院・助教	水文学	降雨流出系の確率応答解析に立脚した洪水予測システムの合理的な構築方法に関する研究
安成哲平	北極域研究センター・助教	大気環境科学・ 雪水学	北極域及び周辺域における森林火災及びその大気汚染発生の要因分析と予測に関わる研究。また、これらの健康・気候・経済的影響についての分野横断的研究。
石川達也	工学研究院・教授	地盤工学	気候変動に伴う積雪寒冷地の斜面災害形態変化の体系化とそのリスク評価に関する研究
渡部要一	工学研究院・教授	地盤工学	火山灰質土により造成された盛土地盤の液状化特性
橋本雄一	文学研究院・教授	人文地理学	地理空間情報を用いた積雪寒冷地の災害時避難に関する研究
青山 裕	理学研究院・教授	火山学	北海道の活動的火山における火山現象の力学的観測研究
谷岡勇市郎	理学研究院・教授	地震学・ 津波学	広域津波災害軽減に向けて、近年設置された海底地震津波観測網(S-net)を用いた津波即時予測手法の開発研究を実施し、国際誌EPSIに投稿する。
稲津 将	理学研究院・教授	気象学	数値計算・データ解析による気象力学および応用気象学の研究
高橋幸弘	理学研究院・教授	リモートセンシング・ 雷観測	超小型衛星を用いた大規模災害の即時的な観測、およびそれを実現する国際連携の構築
岡田成幸	広域複合災害研究センター・ 特任教授	地震防災計画学(建築系)	北海道の地域性(日本海溝巨大地震津波・冬型問題)に着目した地震被害想定手法の再構築 ~近年発生の内陸地震被害データに基づく被害想定を検証を通じて~